

2021年度(第55次)研究助成応募状況

2021年度(第55次)研究助成は、募集を1月12日に締め切ったところ40件の応募がありました。応募の内訳は下表のとおりです。

本事業は“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”分野の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査のうえ、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

- 1)消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- 2)広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- 3)パンデミックがもたらしたインパクトに関する研究

2021年度の助成対象研究は、下記のメンバーによる選考委

員会を経て3月の理事会において決定されます。

結果の発表は、4月上旬応募者宛てに直接通知します。

選考委員長	亀井昭宏	早稲田大学名誉教授
選考副委員長	仁科貞文	青山学院大学名誉教授
選考委員	青木貞茂	法政大学教授
選考委員	阿久津聡	一橋大学大学院教授
選考委員	井上哲浩	慶應義塾大学大学院教授
選考委員	岸志津江	東京経済大学教授
選考委員	里村卓也	慶應義塾大学教授
選考委員	澁谷 覚	学習院大学教授
選考委員	嶋村和恵	早稲田大学教授
選考委員	清水 聡	慶應義塾大学教授
選考委員	田中 洋	中央大学大学院教授
選考委員	疋田 聡	東洋大学名誉教授
選考委員	南知恵子	神戸大学大学院教授
選考委員	吉見俊哉	東京大学大学院教授

応募数(前年度比)

応募総数	部門	応募数	助成期間別件数	課題別件数	
40件 (+8件)	常勤研究者の部	26件 (+6件)	単年研究 9件	自由課題	4件
				指定課題	5件
			継続研究 17件	自由課題	5件
				指定課題	12件
	大学院生の部	14件 (+2件)	単年研究 9件	自由課題	5件
				指定課題	4件
			継続研究 5件	自由課題	2件
				指定課題	3件

指定課題の内訳

応募数	部門	件数	指定課題別件数	
24件	常勤研究者の部	17件	指定課題①	6件
			指定課題②	2件
			指定課題③	9件
	大学院生の部	7件	指定課題①	1件
			指定課題②	4件
			指定課題③	2件

※指定課題

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③パンデミックがもたらしたインパクトに関する研究

Editor's Note

カーボンニュートラル実現に向け、日本が手にする強力な武器とは:電力消費の6割を占めるモーター効率を大幅改善する「新素材パワー半導体」、劇的な低消費・高速化を実現する「光半導体」、「那珂核融合研究所」等々と「海・海藻」、そして「国民」。(傾)

以前「断捨離」という言葉がはやりましたが、最近さらさらに進んで「ものを増やさない買い方」に関する記事をよく見かけます。「ゼロエミッション」達成に向けて、個人の購買スタイルも見直す動きが広がっているのでしょうか。とはいえ、「SALE」の誘惑に勝てないのが正直なところ。(葡萄)

風力発電で思い起こされるのは映画『風の谷のナウシカ』です。高度産業文明が崩壊した後の世界が描かれ、慄然としたものです。産業文明を失う前に、人類が自らの科学技術をもって自然と共生する道を選べば、ディストピアをまぬがれるのでしょうか。試みは始まったばかりです。(ひろた)

AD STUDIES 2021年3月25日号 通巻75号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
TEL : 03-3575-1384 FAX : 03-5568-4528
URL : http://www.yhmf.jp

発行人 岩下 幹
編集長 布施博嗣
編集部 岩本紀子、沓掛涼香
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+畠山大介、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。